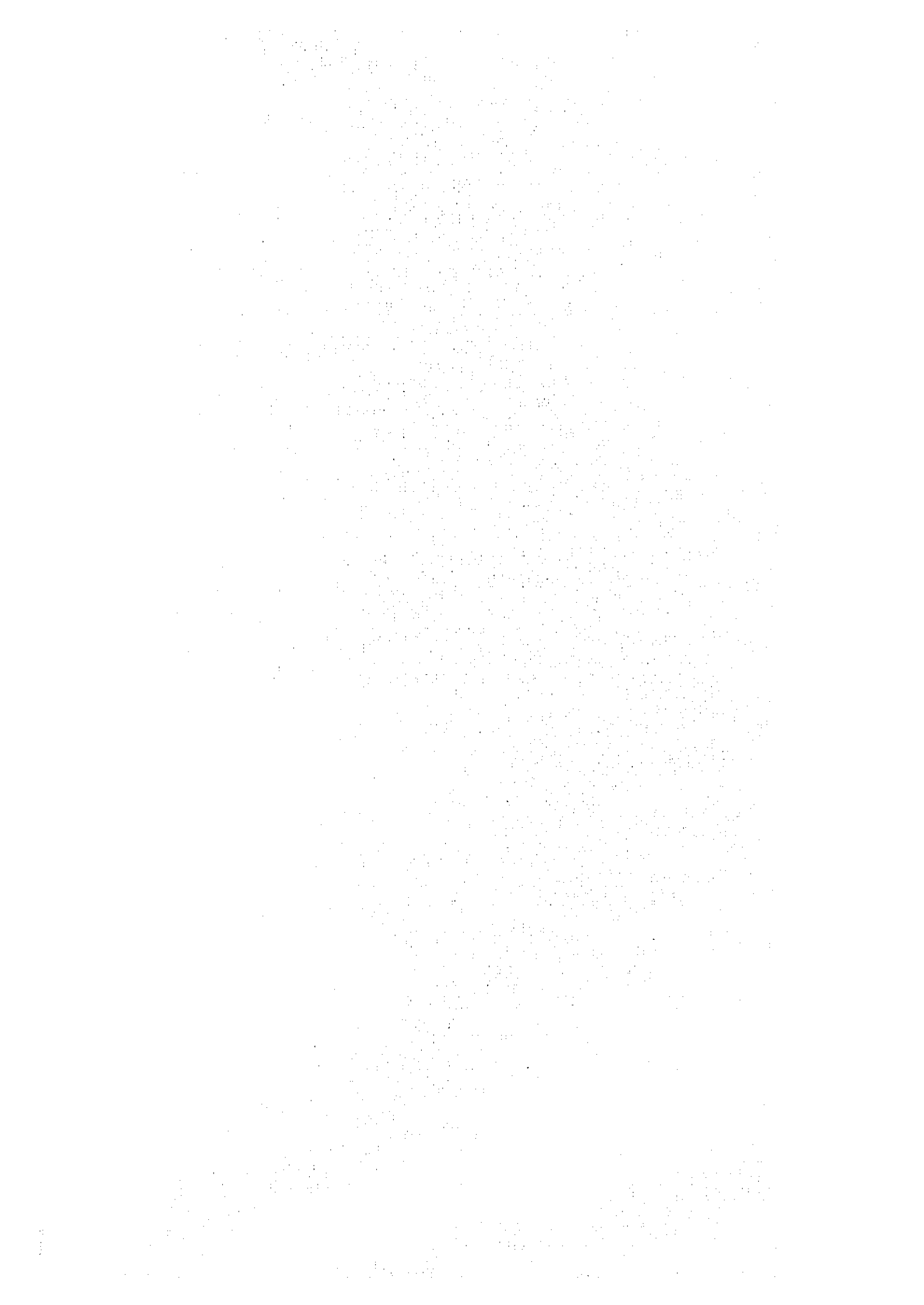


ICA  
416  
214  
PLV  
ERARY



国別WID情報整備調査

タンザニア

*Tanzania : Country WID Profile*

平成9年3月

国際協力事業団

企画部

JICA LIBRARY



J 1146228 (0)

環境

JR

98-72



1146228 (0)

国別WID情報整備調査  
(タンザニア国)

目次

1. WID/ジェンダーに関する概要と政府の取り組み	
1-1 タンザニアの女性の概要	1
1-2 文化・社会的背景	1
1-3 WID/ジェンダーに関するタンザニア政府の取り組み (WID/ジェンダー政策、ナショナルマシーナリー等)	2
2. 主要セクターにおけるWID/ジェンダー	
2-1 教育分野	4
2-2 保健医療分野	7
2-3 農林水産業分野	10
2-4 経済活動分野(鉱工業・手工業・サービス業等)	13
3. 国際機関・その他の機関のWID/ジェンダー関連援助実績	16
4. 情報入手可能組織/人材リスト	18
5. 関連文献リスト	20
6. 当調査実施に関する情報	23
7. 引用文献	24



# 1 WID/ジェンダーに関する概要と政府の取り組み

## 1-1 概要

大陸部とインド洋の島嶼から成るザンジバルの2つの政治システムが統合された国家であるタンザニアの所得水準は、1994年の一人当たりGNPが140USドルと、サハラ以南アフリカ諸国平均値(503USドル)をかなり下回っている(世界子供白書1997)。社会主義的な国家統制経済から市場経済への移行を進めているが、インフレ率は約20%と高く、経済成長は思うように進んでいない。比較的好調な鉱業と建設業に支えられ、1990年代以降、GDP成長率は3~4%で推移しているが、製造業の成長が遅れており、経済はGDPの56%を占める農業(SARDC, 1997)の好不調に大きく左右される。世銀による構造調整プログラムを受け入れて経済再建に取り組んでいるが、この過程で公務員の多くが職を失ったほか、社会サービスが大幅に削減されている。また、ブルンディ等、近隣諸国からの難民受け入れには寛大な態度で望んできたが、多くの難民が居住する地域では地域の森林資源等を圧迫するために地域住民との間に軋轢が生じており、難民の存在が負担となってきた。

国土の多くが乾燥あるいは半乾燥地帯でおおわれているため、気候不順が干ばつを招き農作物や家畜に被害を与えている。そのため農業で生計を立てることが困難になり、多くの男性が移住労働を余儀なくされており、家族の生活に果たす女性の負担はますます大きくなっている。女性の仕事である水くみに要する時間が増えることで女性の過労を招いているほか、清潔な水が不足することで家族の健康に与える影響も大きい。また、十分な食糧の確保が困難になっていることが栄養不良を引き起こしており、保健サービスへのアクセスの悪さとともに妊産婦及び乳幼児死亡を高く保つ大きな要因となっている。近年、エイズが主要死因になりつつあり、社会経済に破壊的な影響を及ぼすのではないかと懸念されている。1995年末までに登録されたエイズ患者数は8,100名であるが、現実にはこの4~5倍の患者がいるものと推定されており、緊急の取り組みが必要とされている。初等教育就学時には男女間で大きな差はないものの、女性は早婚・出産等により中退するものが多く、教育の男女間格差も大きい。

女性は習慣法や伝統的な価値観に阻まれ、依然 十分な社会経済参加の機会を得られないでいる。担保を準備できないために融資を受けることができないなど女性が経済活動への参画には障害が多い。また、女性は労働力人口の50%を占めるにもかかわらず、フォーマル・セクターで雇用されているのは女性労働力人口の3%にすぎない(SARDC, 1997)。

## 1-2 文化・社会的背景

120以上にのぼると言われるタンザニアの諸民族の多くはバンツー族系統であるが、それぞれの民族には異なる習慣や価値観が存在し、女性の権利や女性に期待される役割もそれぞれ異なっている。また、植民地化のプロセスで変化した女性の地位も存在する。たとえば植民地化以前は、結婚後も女性は出身家庭に属し続け、夫からひどい扱いを受けた場合には出身家庭が離婚を申し出ることもおこなわれたが、植民地時代にこのような女性の出身家庭の役割は失われ、女性が享受していた保護も失われた。

近代化の急速な進展が人々の生活を変えつつあるが、家庭や地域では依然、各民族や宗教による習慣が色濃く残っている。幼児期に男児あるいは女児に割礼をおこなう民族や一夫多妻制が一般的である民族も多い。女子への割礼は性的欲求を忘れて家庭に奉仕するという目的でおこなわれており、割礼がおこなわれている民族では割礼を受けない女性は一人前と見なされず、子供ができて「母」とは呼ばれないなど、様々な不利益を被る。また、27%の女性は一夫多妻制に基づく婚姻関係にあると推計されている(UNICEF, 1996)。夫を亡くした女性を夫の兄が引き取る民族や、子供がいない女性は夫の家から追い出される民族もある。

宗教的にはイスラム教徒とキリスト教徒がそれぞれ人口の約30%を占めると推定されている。地域によって主要な宗教は異なり、たとえばザンジバルではイスラム教徒が99%を占めている。イスラム教の影響が強い地域では、結婚や離婚はコーランに基づくイスラム法によって律せられるが、女性は男性に保護されるべきという考えから離婚は歓迎されないことに加え、離婚に際して妻側が結納を返還しなければならないために、

離婚数は少ない。こうした宗教法に加えて、タンザニアには政府による制定法と慣習法の三重構造ができあがっており、それら相互にはいくつもの矛盾点が存在する。たとえば慣習法では、土地を所有する権利や他の基本的な人権が女性には与えられていない。また、多くの女性は慣習法や宗教法しか知らないために制定法で保障されている権利に気づいていない。

### 1-3 WID/ジェンダー分野における政府の取り組み

#### ◆WID/ジェンダー政策

憲法では男女の平等な権利が保障されている。しかし結婚・離婚、夫婦間の資産分配、養育権、相続等については慣習法によることが一般的であり、女性の権利はかなり制限されている。女子差別撤廃条約には既に批准しており、政府は差別的な法律の改正に取り組む意思を表明している。

1992年に「タンザニア女性と開発政策 (Policy on Women in Development in Tanzania)」が発表されているが、そのなかで目標とされているのは、女性と開発の概念の明確化、ジェンダーに配慮した開発計画の推進、女性の開発への参加を阻む障害の除去、女性の加重労働の軽減、女性を対象にしたプログラム間のコーディネート推進の5項目である。具体的には、初等教育の完全普及、中等教育における女子就学の推進、成人教育推進、女性に対して差別的な法律の改正、母子保健・家族計画サービスの充実等をおこなうこととなっている。

#### ◆ナショナル・マシーナリー

名称	地域開発女性児童省 (Ministry of Community Development, Women's Affairs and Children: MCDWAC)
職員数	不明
予算	不明
機能	上記の「タンザニア女性と開発政策」実現のための省庁間の調整及び実施

政府は、ジェンダーに中立な政策を制定すれば、女性への十分な支援になると長い間考えていたが、国連女性の10年を契機とした女性問題への関心の高まりのなかで、女性への取り組みを進める特別な仕組みが必要であることを認識するにいたり、地域開発女性児童省が設立された。地域開発女性児童省は、十分な職員と予算を与えられていないために、実施できる活動には制約があるが、このような省が設置されたことそのものが、大きな進歩と考えられている。また、政権党であるタンザニア革命党 (Chama Cha Mapinduzi: CCM) の大衆女性組織であるタンザニア女性同盟 (The Union of Women in Tanzania: UWT) が、政府・政党の方針に女性への配慮を盛り込むよう働きかけをおこなっている。



◆他省庁によるWID/ジェンダー関連の主要取り組み事項

教育省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初等・中等教育への女子の就学促進</li> <li>・女子の理数系科目履修の促進</li> <li>・教科書やカリキュラムからのジェンダーについてのステレオタイプ排除</li> <li>・中等教育校への女子寮付設</li> <li>・貧困世帯出身の女子への奨学金提供</li> <li>・女性に重点を置いた識字教育 (2000年までに非識字者を50%削減)</li> <li>・女性の権利に関する啓蒙活動</li> </ul>
保健省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2000年までに妊産婦死亡率を50%削減</li> <li>・2000年までに乳児死亡率を50 (対出生1000)、5歳未満児死亡率を70 (同) に削減</li> <li>・安全な水の完全普及</li> </ul>
法改正委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婚姻法、児童・未成年に関する法令、相続法の改正</li> </ul>
農業省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性への農業普及、小規模融資サービスの提供</li> <li>・女性の協同組合への参加促進</li> </ul>

女性児童地域開発省がイニシアティブを取り、各省庁はWID/ジェンダーに関する政策を策定中であるが、現時点で明確な取り組み事項を明らかにしているのは上記の省庁に限られる。

## 2 主要セクターにおけるWID/ジェンダー・イシュー

### 2-1 教育

- 1) 初等教育就学時には男女間に目立った差はないが、女子は中退者が多いために中等教育レベル以上では大きな男女間格差が生じ、後期中等教育では女子は全体の21%にすぎない
- 2) 親の消極的態度や早婚・若年出産を理由に女子は中退に追い込まれる
- 3) 就学格差を背景に、女性の成人識字率(57%)は男性を20ポイント以上、下回っている
- 4) 理科系科目は男性向きというステレオタイプのために、女子が科学技術や農業技術を学ぶ機会は著しく制限されており、高等教育就学を妨げる要因にもなっている

#### ◆概況

初等教育(7年)、中等教育(前期4年後期2年、計6年)の教育システムを採用しており、その後に3年間の高等教育が続く。1974年に開始された「初等教育完全普及政策」が成果を上げ、1980年には各村には最低1校の小学校が建設された。この過程で総就学率は当初、順調に伸び1980年には93%(1980年)に達したものの、教員増員等による教育の質の確保を伴わないまま小学校建設が進められたために教育への信頼や期待が失われ、その後、総就学率は減少し65%程度にとどまっている。初等教育は1978年に義務教育化され無償で実施されていたが、近年、施設の維持管理等は各学校の独立採算となり、生徒は学校運営費を負担しなければならなくなっている。今後は初等教育の完全普及とともに、依然、就学率が非常に低い中等、高等教育の拡充や教材の改善が課題であるが、資金不足のために机がない学校も多く、教科書もいきわたっていないのが実情である。1970年代後半から1980年代にかけての経済不況は教育拡充にも大きな打撃を与えており、教材・機材の供給不足、教員給与の削減による意欲の低下、生徒の成績低下等を引き起こしている。教育に向けられる資金の80%はドナーからの援助でまかなわれている(SARDC, 1997)。

#### ◆初・中・高等教育

初等教育の就学率には男女間で大きな差はないものの、女子は中退者が多いために中等教育になると男女間格差が広がる。1988年の統計によれば、前期中等教育就学者では女子は41%を占めているが、後期中等教育になると21%、大学では17%に減少する。女子の中退の背景にあるのは、周囲の教育に対する消極的態度に早婚、妊娠による中退が加わることが大きな理由であり、10代の妊娠は女子の教育レベル向上を妨げる重要な要因となっている。また、家事手伝いを期待されて中退を余儀なくされる女子も多数にのぼる。女性の成人識字率は57%と近年、かなりの改善がみられるが、前述のような男女間の就学機会格差のために依然、男性(79%)を20ポイント以上、下回っている。後述するように教育レベルと母子保健、家族計画推進には正の相関関係があることが明らかになっており、保健医療状況の改善や人口抑制に教育の果たす役割は非常に大きい(2-2保健医療参照)。

科学技術は男性向きの科目と考えられているために女子の就学者数は非常に少なく、結果的に女子はコンピューターを含む新技術取得の機会から取り残されている。また女子校では科学技術系の教科はあまり教えず家庭科関連科目に重点が置かれるなど、女性の役割や女性向きの科目についての社会通念が授業科目に影響を及ぼしている。たとえば中等教育で女子が農業を履修することはできない。技術系の科目履修は高等教育

進学への条件になるため、こうした女性が学べる科目についての制約のために女子は高等教育進学をあきらめざるを得ない場合も多い。

#### ◆教員

初等教育では教員の男女比率は50%ずつに近づいているが、中等教育以上では女性教員の比率は少ない。また、女性は上級職になるほど数が減っており、教員養成学校の校長40名のうち、女性は8名にすぎない（SARDC, 1997）。技術訓練校では10%、教員養成校では23%、ダル・エス・サラーム大学では7%のみが女性教員である。

#### ◆成人教育

成人に対する識字教育は、生活技術の習得を組み合わせるような形で実施されており、夜間学級や通信教育を通じて実施されている。また、識字教育修了者に対しては、通信文作成等のプログラムを含む成人教育も実施されている。識字教室への参加者は1969年には54万人であったが、1986年には600万人以上に増加しており、このうち女性は約55%を占めていた。こうした識字教室は1980年以降、10ポイント以上の伸びをみせている成人識字率の向上に貢献したと評価されている。

#### ◆職業訓練・技術教育

自営業者や半熟練労働者の育成を目的として様々な分野における職業訓練が実施されているが、経営技術や起業のためのノウハウがカリキュラムには欠けており、そのため養鶏・養蜂等の一部の分野を除き、職業訓練教育は実際の所得向上にはなかなかつながらないことが報告されている。また、給与や社会的地位が低いことに加えて学校設備の状況が悪いため、職業訓練校の教員のレベルが低いことも問題となっている。タンザニア経済のニーズに適合し、しかも生産性が高く所得向上につながる技術を女性に提供することが求められているが、職業訓練分野におけるWID/ジェンダー関連の取り組みは特におこなわれていない。NGOが実施する技術訓練も多いが、期間が短すぎたり専門性や市場性に乏しかったりするために効果は上がっていないのが実情である。後述するようにインフォーマル・セクターにおいて小規模事業に携わる女性は多いが（2-4 経済活動参照）、経営技術や流通のノウハウを知らないために事業の拡大ができず限られた生産量と利益での営業を余儀なくされている女性は多く、そうしたノウハウを学ぶことによる効果は大きい。

表1 主要教育指標

指標	全体	女性	男性
成人識字率 1995年 (%)	68	57	79
初等教育総就学率 1989年 (%)	63	63	64
中等教育総就学率 1989年 (%)	4	4	5
高等教育総就学率 1989年 (%)	0.2	N.A.	N.A.
政府予算に占める教育予算割合 1994年 (%)	6		

出典：世界子供白書1997、World Bank, 1993、SARDC, 1997

表2 中等教育就学者男女比 (%)

	公立校		私立校	
	女性	男性	女性	男性
1982	32	68	38	62
1990	37	63	46	54

出典：Tanzania Bureau of Statistics, 1992

表3 ダル・エス・サラーム大学卒業生男女比

	卒業生	
	女性	男性
1980	26%	74%
1991	15%	85%

出典：Tanzania Bureau of Statistics, 1992

表4 初中等教育教員数と男女比

教員数(千)	1986		1990	
	女性	男性	女性	男性
初等教育	37	58	40	57
中等教育	1	4	2	5
男女比(%)	38	62	41	59

出典：Tanzania Bureau of Statistics, 1992

表5 成人識字教育の実施状況

	就学者数(千)		
	全体	女性	男性
1969	541	335	206
1986	6312	3445	2867

出典：Tanzania Bureau of Statistics, 1992

## 2-2 保健医療

- 1) 若年・頻回出産、栄養不良に不適切な処置が加わって、妊産婦死亡率は770（対出生10万）と非常に高い
- 2) 妊産婦の健康は、重労働、間違った栄養知識による栄養不足等による不安に常にさらされている
- 3) 特に男性の側に子沢山を望む文化が根強いために合計特殊出生率は5.7と高い
- 4) エイズの母子感染は新生児の3.9%に及んでおり、早急な対策が必要とされている

### ◆概況

保健医療システムはインフラ面では郡、村レベルでもかなり普及が進んでいるとされているものの、地域によって普及にはかなりの偏りがある。農村部には最寄りのヘルス・ポストまで5~10kmを歩かねばならない地域もあり、待ち時間を加えると1日近くを費やさねばならない。加えて、医薬品・機材の不足や、最高レベルの給与を稼ぐものでも副業にいそまなければならないほどの給料の安さに起因する医療従事者の低モラルなど、多くの課題を抱えている。1993年にそれまで無料でおこなわれていた医療サービスは母子保健分野を除いて有料化されたが、この変化が人々の保健サービスへのアクセスや健康状態にどのような影響を与えているかは、まだ明らかになっていない。主要死因はマラリア、呼吸器感染症、エイズ、チフス、コレラ、下痢等であり、衛生環境の改善や適切な処置で防ぐことができる疾病が大部分である。1994年に策定された社会セクター戦略（Social Sector Strategy: SSS）では、政府は予防医療、基礎医療、啓蒙活動に重点を置いた政策の推進を計画している。

### ◆母子保健

妊産婦死亡率は770（対出生10万）とサハラ以南アフリカ諸国平均値（561）を200以上も上回っている（世界子供白書1997）。その主要原因は出血多量、敗血症、異常分娩、貧血、マラリア等である。高い妊産婦死亡率の背景には産前検診受診タイミングの遅さ（多くの女性は5カ月以降に受診）、蔓延する栄養不良、若年・頻回出産、衛生状態の悪さ、分娩時のトラブルに対する不十分な処置が挙げられる。妊婦には栄養面で特別な配慮が必要であるとの認識は少なく、妊娠中も普段同様の農業活動や水くみを続けるほか、妊娠中に蛋白質を摂取しすぎると胎児が育ちすぎて分娩に支障を来すといった言い伝えを信じ、十分な栄養を取らない民族も存在する。このような妊娠中の重労働と栄養不足は母子の健康に悪影響を及ぼしており、ヨード欠乏症や貧血に悩む妊産婦はかなりの割合に達している。慢性マラリアや回虫が貧血の原因となっている場合も多く、女性の15%は身長が150cm以下であるなど栄養不良の影響は大きい（SARDC, 1997）。また、10代女性の23.2%が母親であることが示すようにリスクの高い若年出産の多さが妊産婦死亡を引き上げているほか、8~9歳でおこなわれる割礼の際の処置のまずさが出産時のトラブルにつながる場合もある。保健員の介助による出産は53%であるにもかかわらず、妊産婦死亡率がこのように高い背景には、介助のほとんど（53%中、47%）が看護婦や保健ワーカーによるもので、そのなかには十分な訓練を受けていないものが多く処置が不十分であること等が原因であると考えられる。同様に最低1回は産前検診を受けた女性は妊産婦の95%にのぼっているが、そのうち医師の検診をうけたものは6%であり、ほとんどは適切な検診を受けていないものと推定される。

女性は日に2~3時間をかけて水を集めなくてはならない。このような水や燃料確保に要する労働量は女性の1日あたり平均カロリー摂取量の1/3から1/4を消費しており、女性の労働負担を重くし健康に影響を与える重要な要因となっている。タンザニアでは水くみは女性の仕事であることから水供給プログラムは衛生状態の改善を通じた家族の健康向上はもちろんのこと、女性の労働軽減に大きな意味を持つ。

乳児死亡率は徐々に改善されてきており、1960年の147（対出生1000）から1995年には100（同）に減少した。

しかし、65 (対出生1000) から200 (同) と乳児死亡率には地域によって大きな格差が存在しており、保健サービスへのアクセスが悪い農村部では依然、乳児の健康は厳しい状態にある。上述のように若年・頻回出産のために母体が消耗していることが、低体重児や栄養不良児、さらにはビタミンA欠乏症による失明等の原因となっている。母親の教育レベルと乳児死亡率には相関関係があることはタンザニアでも確認されており、全く教育を受けていない母親から生まれた乳児死亡率が101.1 (対出生1000) であるのに対し、中等教育以上の教育を受けた母親の場合には71.8 (同) である (SARDC, 1997)。

#### ◆家族計画

保健医療機関の80%では何らかの家族計画サービスを提供しているが、近代的方法で避妊を実行している女性の割合は5%と非常に低い。家族計画に関心を持つ女性は多いと考えられているが、一方で子沢山が好まれる伝統も根強く、合計特殊出生率は5.7と高い。そのため、平均して20年間で人口が2倍に増えるという傾向が続いている。女性より男性の方が望む子供数は多く、家族計画に関しては男性の意思決定が重要な役割を果たしているが、夫と対等に子供の数について話し合える夫婦は依然、少ないと言われている。

#### ◆エイズ

近年、エイズ流行による母子感染が増加しており、順調に減少してきた乳児死亡率が再び増加するのではないかと恐れられている。母親からエイズに感染して生まれてきた新生児数は1994年には27,586人であり、母子感染は新生児の3.9%に及んでいる (World Bank, 1993)。アメリカ統計局 (US Census Bureau) は、このような状況が続けばエイズの影響で乳児死亡率が25ポイント増加するだろうと警告しており、緊急の取り組みが必要な状況である。エイズ患者は商業活動が盛んな都市部や市街区に集中しているが、都市部では農村のように親族からの生活支援が得られにくいいため、患者はより厳しい社会環境に置かれることが報告されている。

表1 主要保健指標

人口1995年 (人)	29,700,000	1歳児予防接種率 (%)	
人口増加率1980-95年 (%)	3.1	結核	92
16歳未満人口割合1995年 (%)	53	3種混合	88
出生児平均余命1993年 (女性)	53.5	ポリオ	86
(男性)	50.5	はしか	82
粗出生率1995年	42	妊産婦死亡率1990年 (対出生10万)	770
粗死亡率1995年	14	介助付き出産の割合1990-96年 (%)	53
乳児死亡率1995年 (対出生1000)	100	合計特殊出生率1995年	5.7
5歳未満児死亡率1995年 (対出生1000)	160	避妊普及率1990-96年 (%)	20
低出生体重児の割合1990-94年 (%)	14	政府予算に占める保健予算比率1994年 (%)	4
低体重栄養不良児 (中重度) の割合 (%)	29		

出典：Tanzania Bureau of Statistics, 1992、世界子供白書1997

表2 妊産婦および一般人口中の栄養不良性疾患人口比率

	貧血	ヨード欠乏症
妊婦および授乳中の女性	80.0	52.0
一般人口	32.0	25.0

出典：UNICEF, 1996

表3 母親の就学経験と乳児死亡率

	乳児死亡率		
	1967	1978	1988
就学経験なし	155	148	128
何らかの就学経験	115	119	109

出典：Tanzania Bureau of Statistics, 1992

表4 妊産婦死亡の主要原因（1986年）

敗血症	28
出血多量	19
子宮破裂	17
貧血	5
その他	28
不明	3

出典：UNICEF, 1990

表5 保健衛生関連指標

	全国	都市	農村
総人口に占める安全な飲料水を手入れできる人の割合 (1990-96)	38	73	29
総人口に占める適切な衛生施設を利用できる人の比率 (1990-96)	86	96	64
総人口に占める保健サービスを受けられる人の比率 (1990-95)	42	n.a.	n.a.

出典：世界子供白書1997

表6 母親の教育レベル別にみた母子保健サービス利用率 1991-1992年 (%)

母親の教育レベル	産前検診受診率	母親の破傷風 予防接種率	保健員が介助する 出産の割合	はしか予防接種率	ORS利用率
就学経験なし	86	66	38	71	66
初等教育出席	93	72	53	82	77
初等教育修了	95	76	64	88	74
中等～高等教育	99	72	84	94	84

出典：SARDC, 1997

表7 母親の教育レベル別にみた子供の健康状態 1993年

母親の教育レベル	乳児死亡率 (対出生1000、%)	5歳未満児死亡率 (対出生1000、%)	中度の発育障害 (%)	中度の消耗症 (%)
就学経験なし	101.1	162.3	50.3	6.1
初等教育修了	98.0	146.7	45.6	5.4
中等～高等教育	71.8	100.8	27.6	4.0
合計	99.4	153.6	46.6	5.6

出典：SARDC, 1997

## 2-3 農林水産業

- 1) 農作業の7割近くを女性が担っているにもかかわらず、教育レベルの低さや女性に割り当てられている家庭内の責任のために新技術取得や融資獲得の機会は限られている
- 2) 制定法では女性の土地所有が認められているものの慣習法では男性しか土地相続ができないためにほとんどの女性は夫や息子を通じてしか土地の利用を許されない
- 3) 文化的制約等のために女性への普及活動には困難が多く、女性の農業および林業普及参加率は、それぞれ6%、3%にすぎない
- 4) 担保として土地証書が必要なことに加えて、融資手続きの複雑さや女性に対する金融機関の消極的態度に阻まれ、女性の小規模融資利用率は低い

### ◆概況

タンザニアの産業構造は農業に大きく依存しており、雇用労働人口の84%、全世帯の90%は農業に従事している（SARDC, 1997）。また、そのうちの圧倒的多数は小規模農業従事者である。GDPに占める農業の割合は57%（1994年）であり、その他の生産セクターを大きく引き離している（国別協力情報ファイル, 1996）。主要輸出品はコーヒー、綿花、コブラ等である。過去5年間ほどの間に換金作物の生産・販売に携わる農民数が増加したが、このような傾向は農村の所得向上につながっている一方で、自給用に貯蔵される作物量の低下や自給用農地の減少を招き、生活に十分な食糧を確保できなくなっている農民も存在する。また、近年、換金作物の価格が低下するにつれて農業生産以外の収入を模索する農民も増加しており、移住労働を選ぶものも増えている。一部地域では干ばつのために緊急食料援助がおこなわれているが、別の地域では過剰生産品が余っていると報告されており、農業産品の集荷・貯蔵・流通システムには多くの問題を抱えている。

### ◆農業

女性の農業生産に対する貢献は大きく、農業労働人口の75%を女性が占めており、国内で消費される農産物の80%を女性が生産している（SARDC, 1997）。家畜と換金作物は男性、自給作物は女性というのが農業に関する一般的な男女間の責任分担であるが、実際には女性は家畜への餌やり、換金作物の除草・収穫等を含め、農作業の7割近くを担っている。このような状況を反映して、農業分野は女性の労働力人口が男性を上回っている唯一の分野となっている。収穫した作物を家や市場へ運ぶことも女性がおこなっているが、市場での販売はタンザニアでは男性の役割である。また、現金収入の用途について決定権を有するのも男性である。

女性は農業生産に男性以上に貢献しているにも関わらず、教育レベルの低さや家庭内での責任のため、技術研修や融資提供の機会を得ることができないことも多く、女性の生産力向上には障害が多い。換金作物への依存が高まり、自給作物の備蓄が減少していることとあわせ、女性の立場がこれまでよりも弱くなってきていることが懸念されている。1991年の協同組合法の改正以降、女性も協同組合を結成することができるようになったが、実際の参加はいまだ限られている。

### ◆土地所有権

1971年の婚姻法により、女性にも財産所有権および財産処分権が与えられたが、法律履行を促すためのメカニズムは存在しておらず、農村女性のなかには自分たちの権利について知らない女性も多い。制定法では男女ともに土地を所有できることになっているが、慣習法では土地は男性しか相続できないことになっているため女性の土地所有は認められておらず、女性は夫や息子を通じてしか土地の使用が許されない。女性は通常、自ら購入することによってしか土地を所有することができないが、このような女性による土地購入は都市部では稀におこなわれているものの農村部ではほとんど例がない。農業生産に従事する人口を男女比で見ると女性が男性を上回るにも関わらず、女性で土地を所有しているのは16%にすぎない。このように、農業が女性の主要な経済活動の場であるにも関わらず女性の土地へのコントロールが著しく制限されていること



が、女性の生産力向上および所得向上を妨げる要因になっている。

◆農業普及員

女性が家族外の男性と単独で話をすることには強い社会的抵抗があることや男女が同席する場では女性は発言しないことなどから、女性に対する農業普及は容易ではない。農業普及プログラム参加者のうち、女性の割合は6%にすぎない (SARDC, 1997)。農業普及についての情報は夫から得るしかないというのが多くの女性にとっての現実である。

◆小規模融資へのアクセス

小規模融資の利用状況に関するデータは男女別になっていないことが多いために詳細な状況は明らかではないが、女性は、1) 担保として土地所有証書を要求されること、2) 融資手続きの複雑さ、3) 換金作物や中規模以上の企業活動への融資を金融機関が好むこと、等の理由で融資の利用を阻まれる場合が多い。近年、政府や多くのNGOが女性の起業を支援するために担保等を必要としない小規模融資プログラムを実施しているが、実施規模は限られており、教育レベルの低さ等が原因で女性のなかにはこのようなプログラムの存在を知らないものも多い。また女性は小規模融資ならともかく、まとまった金額を借りて事業を起こすようなことはやらないと一般的に考えられているため、多額の融資を希望する女性に対する金融機関の態度は非常に消極的であるばかりか敵対的であることすらある。投資資金を捻出するために貯蓄をすることは、生活に必要な消耗品や医薬品、教科書等にかかる出費管理を女性が担当していることを考えれば困難である。農村金融機関としては政府のCooperative and Rural Development Bank (CRDB)が主要機関であるが、借り手のほとんどは男性であり、女性は融資にあたって夫の同意が必要である。女性のなかには少しでもまとまった資金を手にとようと、グループのなかで拠出金を順番にメンバーに貸していく一種の講組織 (Upato) を結成するものもいる。

◆林業

タンザニアの森林は年0.3%の割合で減少を続けていると推定されており (SARDC, 1997)、森林減少は土壌浸食、塩害、農業生産低下などの被害をもたらしている。女性は週に平均3回、5km以上を歩いて薪を集めなければならないようになっており女性の労働負担が増しつつあるほか、建設資材等も入手しにくくなっている。購入しないとこれらの森林資源を手にいられなくなっているような場合には、世帯の経済状況を追いつめる一因にもなっている。このように女性と森林資源との関わりは深いが、林業関連の普及プログラム参加者に占める女性の割合は3%にすぎない (SARDC, 1997)。

◆水産業

近年、海岸線や湖岸に居住する人々のなかには、農産品価格の低下が引き起こしている収入低下を補うために水産業に従事するものが増加しており、人口の10%に従事していると推定されている (SARDC, 1997)。水産業については、多くの村落では漁獲量が最大となる雨期に外部との交通が遮断されてしまうために、近隣村落での販売を中心とする小規模営業にとどまらざるを得ず、余剰漁獲を売りさばく手段がないために生産拡大への意欲が生まれていない。また、漁業関連に割り与えられている予算は微々たるものであるため、普及員が村落での普及活動をおこなえる機会は限られている。タンザニアでは漁業権は毎年、更新されることになっており、漁業権の取得にあたって男女間に差別はない。しかし女性は、淡水漁業に従事することはあるものの、一般的に洗浄、乾燥、薫製等の加工や販売に携わることがほとんどである。政府は漁業への女性の参加促進を計画中であるが、具体的な政策は立案されておらず、また漁業関連の普及プログラム参加者に占める女性の割合は5.8%にすぎない (SARDC, 1997)。

表1 主要農業指標

GDPに占める農業比率 1994年 (%)	57.0%
労働力人口に占める農業従事者の割合 (%)	85.0%
農業セクター成長率 1993年 (%)	7.3%

出典：国別協力情報ファイル, 1996

表2 労働力人口に占める農業従事者比率

	1970	1990
全体	90.37	80.84
女性	94.99	88.24
男性	85.65	74.05

出典：World Bank, 1993

表3 イリंगा地区4村落の女性生活時間調査結果

活動	時間 (1日あたり)	割合
調理	4.00	28.0
農地労働	3.30	25.0
水くみ	0.45	5.0
薪集め	0.30	3.0
育児	0.15	2.0
掃除・洗濯	1.00	8.0
休憩	2.00	14.0
その他	2.00	15.0
合計	14.00	100.0

出典：Tanzania Bureau of Statistics, 1992

## 2-4 経済活動

- 1) 女性の賃金雇用は微増傾向にあるものの、教育レベルの低さ等が影響して女性の仕事と考えられている低賃金職種に集中している
- 2) 労働力人口中、女性は50%を占めているが、フォーマル・セクター従事者のうち、女性は27%にすぎない
- 3) 雇用数の減少と実質賃金の低下に伴い、インフォーマル・セクターに従事する女性が増加しているが、そのほとんどは非常に小規模な事業に携わっている

### ◆概況

徐々に民営化が進められているものの、製造業セクターは、依然、国営企業が中心となっており、官僚主義的体質や不十分な設備等のために思うように成長していない。1990年代に入り、豊富な鉱物資源の開発が進められ外貨獲得に貢献するようになってきている他、今後は豊かな観光資源を生かした観光業の成長に期待がかかっている。1980年代後半からの構造調整プログラムによる経済再建計画実施のプロセスで公務員の採用は凍結され、多くのものが解雇されたほか、閉鎖された企業や公社も多い。また、1980年代の経済不況を原因として市場経済化の推進とともに、失業者が増加し、インフォーマル・セクター従事者や小規模事業従事者が増加しているが、正確な統計が存在しないことから経済に果たす役割を正確に把握することは難しい。

### ◆労働参加

労働力人口中、女性は50%を占めており（人間開発報告書1996）、女性の労働参加は高い。また、賃金労働、無給労働をあわせた労働に関する調査では、タンザニア女性の労働時間は男性よりも長いことが明らかになっている。女性は最多数を占める農業分野における労働の他には事務職や小売業が多く、専門職等に就いているものは少ない。就業できる職種、業種に関する性別に基づいた厳格な制約は存在しないが、性別役割分担に関する社会的規範が根強いために労働市場における男女間の区別もかなり明確であり、女性は教育レベルや身につけている技術のレベルが低いために低賃金の職種での雇用が多く、看護婦、助産婦、タイピストといった女性の職業と考えられている仕事に就いているものが大部分である。構造調整プログラムの影響で、以前よりも多くの女性が家庭外での賃金労働を選ぶようになってきていると報告されているが、明確なデータが存在しないために状況は明らかではない。

### ◆雇用活動

フォーマル・セクター従事者に占める女性の割合は27%にすぎず（SARDC, 1997）、一般的に女性の仕事と考えられている看護婦、秘書や他の単純非熟練労働に従事しているものが多い。管理職レベルに就いているもののうち、女性は4%にすぎない（SARDC, 1997）。賃金雇用契約を結ぶにあたって夫の許可は求められないものの、現実には夫の同意が必要であり、女性の雇用参加を妨げる一因となっている。また、教育レベルが低いこと等が理由となって高いポジションに就いている女性が少数であることもあり、女性の賃金は男性の88%にとどまっている（World Bank, 1993）。1980年代に実質賃金が目減りしたために、賃金レベルの低い女性の生活はますます苦しくなっている。構造調整プログラムの過程で解雇された公務員はタイピスト、事務職、オペレーターといった女性が多数を占める下級職の職員が多かったために、行政改革の影響を女性がより被る結果となった。

1975年の雇用法は雇用機会の男女平等と同一労働・同一賃金を定めているが、法律の履行を確実に起こすためのメカニズムは存在しておらず、このような法律の存在を知らない女性も多い。また、同法は製造業での夜10時から朝6時までの勤務を禁止しているほか、3年毎に12週間の有給産前産後休暇を与えることを定めている。しかし、これらの恩恵を享受できるのは都市部のフォーマル・セクター従事者に限られるばかり

か、雇用者はこのような女性への措置を不必要な経費と考え、女性の雇用を敬遠する傾向にある。

◆インフォーマル・セクター

インフォーマル・セクター従事者は、1980年代中盤以降、フォーマル・セクターにおける雇用数と賃金が減少するにつれて増加している。実質賃金の目減りによりインフォーマル・セクターで副業に従事して生活費を捻出している公務員も数多い。女性賃金労働者の比率が労働力人口中、3%にすぎないことから推定されるように、女性のほとんどはインフォーマル・セクターに従事しており、特に都市部でその割合が高い。近年の実質賃金の急激な低下にともない、夫だけの収入では生計が立てられず、インフォーマル・セクターに進出する女性が急増している。ダル・エス・サラームの未登録インフォーマル・セクター従事者のほとんどは女性であると言われており、農業、漁業、工業、製造業、建設業、レストラン、ホテル等、女性は様々な業種に就いている。自身で事業をはじめた女性の多くは、食品販売、美容院等に従事しているが、それらは女性が伝統的におこなってきた活動であるため男性からの反発が少ないことが事業選択の大きな理由となっている。女性は担保を準備できないために事業開始資金を借りることが困難なケースが多く、ほとんどの場合、非常に小規模な活動に携わっている。

表1 労働指標

成人労働力人口に占める女性比率 1990年	50%	
稼働所得割合 1993年	女性47.5%	男性52.5%
失業率	女性 4.2%	男性 3.6%

出典：人間開発報告書 1996、SARDC, 1997

表2 産業別GDP構成比 (%)

	1990	1992	1994
農業	59	61	57
工業	12	12	17
(工業のうち製造業)	(10)	(5)	(8)
サービス業	29	26	26

出典：国別協力情報ファイル, 1996

表3 産業別就業人口割合 (%)

農業	85
工業・製造業	5
サービス業	10

出典：国別協力情報ファイル, 1996

表4 産業別成長率 (%)

	1990	1992	1993
農業	-4.9	2.4	7.3
工業・製造業	20.0	3.3	0.8
サービス業	-0.7	2.3	1.3

出典：国別協力情報ファイル, 1996

表5 労働力人口比率の推移 (%)

	女性	男性
1967	73	88
1978	82	81
1988	91	88

出典：Tanzania Bureau of Statistics, 1992

表6 職種別労働力人口に占める女性比率 (%)

職種	女性比率
サービス業	39
事務職	45
専門職	27
管理職	14

出典：SARDC, 1997

表7 農業以外の分野における性別居住地別労働力人口（単位、千人）

	全体		農村部		都市部	
	女性	男性	女性	男性	女性	男性
製造業	22	206	7	60	15	146
事務職	47	58	8	17	39	41
専門職（教員等）	88	244	41	111	47	133
行政・管理職	6	36	2	16	4	20
サービス	106	164	40	46	66	118
小商い	104	276	24	79	80	197
その他	38	61	22	31	16	30

出典：Tanzania Bureau of Statistics, 1992

表8 雇用形態別労働力人口構成比率（%）

	1967		1988	
	女性	男性	女性	男性
賃金雇用	2	16	3	10
自営/インフォーマル	83	67	61	58
家族労働	16	17	3	2

出典：Tanzania Bureau of Statistics, 1992

表9 主要セクター別雇用人口、性別雇用人口構成比率、雇用人口性比 1990-91年

セクター	雇用人口（人）	性別雇用人口構成比率（%）		雇用人口性比（%）	
		女性	男性	女性	男性
農林水産業	9,164,059	90.4	78.0	53.6	46.4
鉱業	102,819	0.1	1.8	4.0	96.0
製造業	238,941	1.2	3.2	27.5	72.5
建築業	91,649	0.1	1.6	5.4	94.6
インフラ建設	691,388	5.3	7.4	14.7	58.3
貿易	109,062	0.2	1.8	8.7	90.0
運輸	24,384	0.1	0.3	8.7	74.3
金融	454,615	2.6	5.7	30.0	70.0
合計	10,889,205	100.0	100.0	49.9	50.1

出典：SARDC, 1997

### 3 WID/ジェンダー関連援助実績

プロジェクト/プログラム	実施機関	援助機関	期間	予算 (US\$)	ジェンダーに関する事項
<b>教育</b>					
女子中等教育支援 (パイロット・プロジェクト)	Merit International Based in Kibaha (NGO)	世銀	1996~1997		低所得家庭の女子に対する奨学金の提供
学校施設修復		世銀/PMO	1990~1997		女子教育推進への間接的効果
学校維持管理プログラム		DANIDA	1989~1996		女子教育推進への間接的効果
教育プログラム (Mtwara, Lindi)			1988~1996		幼稚園修復
<b>農業</b>					
雄牛パイロット・プロジェクト	Mtwara地方農業局		~1997		雄牛購入支援のための女性/青年へのローン提供
伝統的灌漑生産 (Kilimanjaro)	Poverty Africa	FAO			女性組織による伝統的灌漑生産支援/女性組織への循環資金提供
小規模農家開発プロジェクト		IFAD			灌漑管理委員会への女性の参加 (40%) 促進
南部高地普及/農村融資プロジェクト (Iringa, Mbeya, Rukwa, Ruvuma)		IFAD			1999年までに家畜や天然資源管理に関する普及サービスを強化/農村融資サービスへの支援/組織支援
<b>漁業</b>					
統合的漁業開発 (Kagera)		FAO		920,000	短期・長期の技術訓練
タンガニーカ湖漁業開発技術協力/融資プロジェクト (第4フェーズ)		FAO	1994	320,000	女性の漁業/関連活動への参加拡大
<b>林業及び環境</b>					
イリングア土壌・水質保全プロジェクト (HIMA)		デンマーク	1995~1997	2,900,000	技術支援への女性の参加推進
樹木種プログラム(NIGP)		デンマーク	1994~1996	1,700,000	技術支援/訓練
アグロ・フォレストリー・プロジェクト (Songea District)		EU	1993~1995	600,000,000	女性に焦点を当てた持続的な土地利用の促進
森林保全・開発プロジェクト (East Usambara)		EU	1993~1996	2,900,000	森林利用の改善/地域社会の生活環境の改善/女性が生活に利用できる森林材の提供
タンザニア林業行動計画 (TFAP) 実施支援	森林養蜂局	フィンランド	1991~1995	1,300,000	女性の参加促進
農村統合支援 (RIPS) プログラム		フィンランド	1992~1998	3,700,000	地域社会のネットワークの改善、農村地域の運輸・商業等の改善
キリマンジャロ村落林業プロジェクト		JICA	1992~1997	2,800,000	森林保全/環境保護/住民への啓蒙/樹木の種の生産/訓練
環境プロファイル (Mbulu, Monduli)		オランダ	1994	850,000	環境プロファイルの作成/ワークショップの開催 (女性の参加促進)
林業・養蜂開発プロジェクト		SIDA	1994/1995		土壌保全/普及/能力開発/道路建設支援 (女性のニーズ調査実施)
<b>経済活動</b>					

プロジェクト/プログラム	実施機関	援助機関	期間	予算 (US\$)	ジェンダーに関する事項
食品加工産業における女性起業家訓練プログラム	Association of Women Food Processors (NGO)(CHAKIWAYYA)	SIDO/UNIDO/オーストラリア	1993～1999	600,000	参加型訓練/女性の組織化促進/商業活動への参加支援/循環資金設立
起業家開発プログラム	政府, NGO	SIDO	1994～		零細起業家に対する資金・訓練提供 (受益者の45%が女性)
自助組織支援		SIDO/GTZ	1993～2001		自助組織に関する助言サービス・訓練 (受益者の60%が女性)
鉱物資源局強化	鉱物資源局	UNDP	1991～1996		長期・短期訓練
繊維産業及び関連産業における女性の生産/起業技能向上支援			1995～1998		女性に対する訓練
その他					
タンザニア女性の生産活動に対する融資提供	地域開発女性児童省	DANIDA/UNIFEM/UNDP/ILO/ADF	1989～1995		ビジネスに携わる女性への訓練/経済活動のための女性の組織化/融資提供
海洋環境プロジェクト		FINNIDA/RIPS	1996		参加型訓練支援/青年・女性の組織化/融資・貯蓄プログラムの導入

#### 4 情報入手可能組織／人材リスト

	名称／氏名 (専門)	実績 (プロジェクト内容/ 期間、社会ジェンダー分 析の経験等)	報告書／著作等	連絡先
政府	Ministry of Community Development Women Affairs and Children, Mrs. Martha Mvungi (Project Director)	1991～1997 Training Fund for Tanzania Women (TFTW)	Evaluation Report. 101.	MCDWC DAR ES SALAAM
コンサル タント	Rural Integrated Project Support Programme RIPS., Mwajuma Said Msaiganah  Agriculture Department - Mtwara, Grace Joyce Solomon  Agriculture Department - Mtwara, Hannah S. Msaki  Wildlife Conservation Society of Tanzania (WCST), Alice S Bhukoti  WCST, Anneth N. Mwakimi  Livestock Extension MOS, Dominister Moshi  Gender Desk - The Netherlands Embassy, Mary Rusimbi  UNIFEM - UNDP, Leticia Mukurasi  CEGER, Ester Mkwizu ( Executive Director)  CEGER, Rose Emmanuel ( Director)  Tanzania Swiss Trust Fund, Shamsa Mwanguga (Project Coordinator)  WRDP, Theresia Mruma  SARDC, Rose Jengo (Documentalist)  Ministry of Trade, Edine Mangesho (Economist)  Ministry of Trade, Khanifa Karamagi (Trade Policy Expert)	農村開発促進  農村女性のための家計及 び栄養状況についての調 査・助言  農民への野菜・果物の生 産／管理についての助言  WCSTコーディネーター  教育／WIDオフィサー  家畜、豚、山羊・羊の飼 育普及  WIDに関するワークショッ プ／ジェンダー関連問 題のコーディネーター  ナショナルマシナリーの 組織強化支援  女性と青年に関わる農村 参加型計画の評価 (社会 経済／ジェンダー専門家 )  WID関連プロジェクト計画 及び女性起業家支援 (社 会・WID訓練専門家)  エンジニア、訓練指導者 、プロジェクト管理専門 家  都市における収入創出と しての畜産 (リサーチャ ー)  女性のライフ・サイクル  商業と女性についての調 査  女性への信用貸付につい ての調査	Marine Environment  Pegionpea Processing and Utilization  Pegionpea Processing and Utilization  The coastal forest projects works in the threatened  1996 Coastal Forest Projects.	RIPS Office c/o 255-57-33557 Mtwara Lindi  Tel:333121, 333076, 333621 Mtwara  Tel:333076 Res.333254  WCST Box.70919 Tel:24571 Fax:25471  WCST Box.70919 DSM. Tel:333996  The Netherlands Embassy P.O.Box. DAR ES SALAAM  UNDP, DAR ES SALAAM  CEGER P.O.Box.77587 DAR ES SALAAM Mobitel:0811-320552  CEGER P.O.Box.77587 DAR ES SALAAM Tel:111950  Tanzania Swiss Trust Fund, DAR ES SALAAM  P.O.Box.35908 DAR ES SALAAM  SARDC, P.O.Box.32592 DAR ES SALAAM  MOT P.O.Box.9503 DAR ES SALAAM Tel:150049-50  MOT P.O.Box.9503 DAR ES SALAAM Tel:150049
NGO	The Wildlife Conservation Society of Tanzania (WCST), Alice Bhukoti (WCST Co-ordinator)  Women Research and Development Programme (WRDP)  CEGER, Ester Mkwizu ( Executive Director) (社会経済／ジェンダー専門家)	1995～1998 Coastal Forest Project ( Global Environment Facility & FAO)  1990～ The Teenage Girls and Reproduction Project and Women Life Cycle Project  1996～ Traditional Sugar Processing (Kilimanjaro)	Two Identifying Important Bird Areas (IBAS)	Box.70919 Tel:24571 Fax:112494  WRDP, P.O.Box.35108 DAR ES SALAAM  P.O.Box.77587 DAR ES SALAAM Fax:150920 Tel:111950



	名称/氏名 (専門)	実績 (プロジェクト内容/ 期間、社会ジェンダー分 析の経緯等)	報告書/著作等	連絡先
	Mtwara District Development Fund (MDDF) Masasi Education Fund (MEF) Newala Development Fund (NDF)	教育開発支援 教育開発支援		P.O.Box.89 Mtwara P.O.Box.682 Masasi P.O.Box.191 Newala

## 5 関連文献リスト

文献名	著者	発行年	入手先
<b>概要</b>			
Post Abolished: One Women's Struggle for Employment Rights in Tanzania	L. Mukurasi	1991	TAMWA ; WRDP
"The Law and Violence against Women in Tanzania " In African Women Transformation and Development	Kassim S	1991	IDS ; WRDP
Chelewa Chelewa - The Dilemma of Teenage Girls	Edited by Zubeda Tumbo, Masabo & Rita Liljestrom	1994	WRDP Box 35108, DSM
Violence against Women & Children. A collection of newspaper clipping reporting violence against women and children in Tanzania	Salma Maoulidi	1995	TAMWA Box 8981, DSM
The Unsung Heroins	Maglalene Ngaiza & Bertha Koda	1991	WRDP Box 35108, DSM
"Gender and Poverty Alleviation in Tanzania : issues from and for research " in Bagachwa. MSD	Mboughuni	1994	UOSM
Gender Responsiveness of World Bank Programmes in Tanzania	Mbilinyi, M. & Shayo, R.	1996	REPOA
Tanzania Women : Country Report to 4th World Conference on Women, Beijing, September, 1995	MCDWAC	1994	MCDWAC
<b>教育・訓練</b>			
Women and Education in Tanzania : Twelve papers from a seminar	Brock - utne, B & Katunzi, N (eds)	1991	Women Dev. Education Box 35048 DSM
"Gender Reforms in Tanzania Primary Schools " TGNP gender seminar series	Bendera, S.	1994	TGNP
Women in Technical Trades.	ILO	1990	TAWOSTE
Higher and Technical Education Statistics in Tanzania 1989 / 90 - 1993 / 94	TANCOV. MSTHE	1994	EAF
Tanzania and the Financing of Education	World Bank	1991	WB Office
Basic Statistics in Education	MEC	1996	Ministry of Education & Culture / planning commission MEC - DSM
Education and Training Policy	MEC	1996	MEC - DSM
Girls Secondary Education Support (GSE) Pilot Implementation Plan Draft Document	D. Mbilinyi, A. Mdunda, G. H. Teggisa, E. Yona and K. Slensing	1996	UDSM
" Training Needs for Women's Income Generating Activities Paper presented at the workshop on training needs for women's income generating activities	Koda B. O	1991	UDSM
Education, Training and Employment for Women in Development	KODA B. O	1993	WRDP
Education in Tanzania with a Gender Perspective, Summary Report SIDA Education Division Document No.53, Stockholm	Mbilinyi M. J and Mbuguni P.	1991	
<b>保健・医療</b>			
Women and Health : An Annotated Bibliography WRDP Research report No.5. Dar es salaam	Adelina. E. Njau	1987	WRDP Box 35108, DSM
" Coping with the AIDS Epidemic in Tanzania : Survivor Assistance " Background Paper Prepared for Tanzania AIDS Assessment and Planning Study	Ainsworth, M & Rwegarulira, A. A	1991	UNICEF, 3841
The Effect of Women's Health in Infant Mortality : A Case Study of Dodoma Region	Mapunda, B. D.	1992	EAF
Health and Nutrition Status Workshop on Gender Statistics	Mrishe, E.	1992	UNICEF Box 4557
Child Survival and Development Programme (CSDP) in Tanzania : Improving Women's Conditions in Our Histories : Women's Groups / NGOs and Official Programmes in Tanzania, pp4-8	Muro, A.	1993	TGNP, WRDP, IDS
Women and Children in Tanzania. A Situation Analysis - Dar es salaam	UNICEF	1990	UNICEF Office - DSM

文献名	著者	発行年	入手先
Maternal Mortality : How Much is Known about it ? - Paper presented at the 6th Annual Conference of the Tanzania Public Health Association, Morogoro	Muru, Maurizio	1987	UNICEF Office - DSM
Women & Health. Paper Presented at the Workshop to launch DANIDA's Plan of Action for Development Association, Dar es salaam	Mriho Fatma	1990	DANIDA Office
Food Access and Nutrition Policies in Mainland Tanzania Markets Reforms, Research Policies and SARDC Food Security, University of Zimbabwe	Kavishe F.	1990	Ministry of Health
<b>農林水産業</b>			
"Female Farmers and Male Extension Workers". Women and Agriculture Volume 2	Aamink, N & Kingma, L	1991	TNGP, WRDP, EAF - UDSM
Dissemination of Appropriate Technology Information for Women in Fishing Communities : paper presented at a seminar	Bashemerewa, V	1987	UNICEF Box 2728
"Training on Gender Issues. Traditional Irrigation Improvement Programme"	Helsloot, L	1990	SNV Box 35
Socio - Economic Survey on the Role of Women in Irrigated Agriculture in Lushoto District	Kitunga, D	1990	SNV - WAO 35
"A Field Survey of the Problems of Women in Mara Region and Strategies for Change" Dar es salaam WRDP / Musoma Diocese	Ngaiza M.K	1991	WRDP, LDS
The Role of Women in Coastal Fishing Villages. A Case of Three Villages in Bagamoyo	IDSWSG	1986	IDS
Women and Agriculture in Tanzania II - Female Farmers and Male Extension Workers	Nettie Aamink & Koos Kingman	1991	TGNP
The Relationship between Gender, Access to Land and Poverty in Tanzania Case Studies from Bukoba ( Paper prepared for Repoa workshop)	REPOA	1996	REPOA
"A Study on Women and Land in Zanzibar 1993 - 1994". A review by Fauster Nogiw. pp. 16	Donkerlo, J & Abouds	1994	TGNP
Tanzania Forestry Action Plan 1990 - 91 - 2007 / 8	Ministry of Land Natural Resources & Tourism	1989	MLNR Box 6 DSM
Women Involvement in Bee Keeping Industry as a Sustainable Income Generating Activity	Forestry & Beekeeping Division / NAVD	1992	MLNRT Box 6 DSM
Agricultural Policy - Draft Document	MOA	1996	MOAC, DSM
"Impact of Market Liberalization of Household Food Security in Tanzania" in Medium etal (eds.) Household and National Food Security in South Africa	Amani, H. K. R and Kapunda, N. H. I	1988	UDSM
Structural Adjustment in Tanzania : Rural Women Farmers Production Opportunity of Overload ? Paper presented at the symposium on changing rural structures in Tanzania	Bryson, DF	Jun-94	University of Bayreuth - Germany
Food Poverty and Consumption patterns in Kenya	Greer J. and Thorbecke, C	1986	ILO - Geneva
Impact of Adjustment Measures on Welfare of Consumers with Highlights on Woman in Rural Area in Tanzania : Paper presented at EOJ / ECA agricultural seminar - DSM	Kapunda S. M	1991	MOA
Structural Adjustment, Environment and Food Security in Tanzania paper presented at the 9th National Economic Policy Workshop on structural adjustment and environment in Tanzania, DSM 28 - 30 Nov.	Kapunda S. M	Nov-94	MOA
Performance Review of 'Agenda' an Initiative to Promote a Culture of Business Sector	Mkwizu, E & Hasa Mlawa Report	1989	CEGER Box 61410 DSM
Bionergy Working Paper for Tropical Forestry Action Plan 1990 / 91 - 20007 / 08 Final Report	Leah G, and Sawe F.	1996	MILNRT
Prospects of Investment in the Food Sector in Tanzania, Paper Presented at Women Entrepreneurs in Tanzania, Investment Promotion Seminar	Mkwizu, E	1994	CEGER Box 61410 DSM
<b>経済活動</b>			
Poverty & the Environment of Formal Sand Mining and Quarrying Activities in DSM	Dr. G.I.K.Jambiya, Dr. H. Sesovele, Dr. K. Kulindwa	1996	UDSM Geography Dept. / WRDP

文献名	著者	発行年	入手先
Integration of Women into Small Scale Industry Expenses and Proposals	Shamsa Mwangunga / Mbuguni	1989	Supply Services Internation (SSI) - DSM
Survey on Food Processing Industry in Tanzania (unpublished)	Ms. H. Mchomvu, M. B. Gonetimili	1993	SIDO
Self - Help Organizations in the Informal Sector of the Dar es salaam Region (An Updated Situation Analysis)	Pius Wenga, Andrea Ifiland, Michael Schulz	March 1995	SIDO / GTZ , DSM
The Thrust of Women in Business for the Coming 10 Years (unpublished)	E. E. Mangesho	1995	MRS. E. Mangesho, Ministry of Industries & Trade
Sustainable Industrial Development Policy SLDP 1996 - 2020	Ministry of Industries & Trade	1996	Ministry of Industries & Trade Box 9503 DSM
The Mineral Sector Policy of Tanzania (Draft)	Ministry of Energy & Minerals		Ministry of Industries & Trade Box 9505 DSM
<b>社会ジェンダー分析</b>			
Analysis of African Women & Men. the Tanzania Case	Bureau of Statistics, MCDWAC	1995	MCDWAC - Bureau of Statistics
Women and Gender Studies in Tanzania. An Annotated Bibliography	F. Mukangara	1995	Dar es salaam Univer. Press
"A Reseach on the Adverse Effects of Female Circumcision" (NORAD Funded Project)	Women Education and Development Section (WEDS)	1990	UNICEF Box 4282
"Women and Environment in Tanzania" Case Examples of Same District Villages in Kilimanjaro Region	JET	1990	SNV
DANIDA's Plan of Action for Development Assistant to Women, Part III : Tanzania Country Programme	DANIDA	1990	DANIDA
Gender and Development in Tanzania Past, Present & Future	Compiled By Njau, A & Murma, T	1994	WRDP Box 35108 DSM
Gender and Empowerment : A Hand Book for NGO's in Tanzania	TAMWA /UNICEF	1995	REPOA, TAMIWA, UNICEF
Gender Relation & Women's Image in the Media	Dorothy Mbilinyi & Cuthberth Omari	1996	DSM University Press 35187
<b>社会開発</b>			
Women in Management Position Challenges and Opportunities in Parastatal Organizations in Tanzania (case studies of NDC, NIC, BSC & Urafiki textile mil, MA thesis) (unpublished)	Rose Emmanuel	1995	CEGER Box 77587 DSM
"The Problem of Low Motivation for Entrepreneurship among Tanzania Women " Tanzania Journal of Population Studies and Development Vol.1, No.1	Maghimbi, S	1994	EAF
Violence in Marriage the Case of Mara Region ( MA Thesis) (unpublished)	Mary Kabelele	1995	IT-TW, DSM
<b>その他</b>			
Strengthening Institutional Capacity of the Ministry of Community Development, Women Affairs and Children in Tanzania ( Mainland). A consultant report	UNDP	1992	UNDP, MCDWAC
USAID / Tanzania Activities : WHD Actions for USAID / Tanzania. " In Mbilinyi M (ed) Our Histories ; Women's Groups / NGO's and Official Programmes in Tanzania	Mbuya, H.	1993	TGNP
World Bank (1996) Tanzania - The Challenge of Reforms - Growth, Incomes and Welfare Vol.1 (main report)	World Bank	1993	WRDP Box 35108 DSM
Women and Credit in Tanzania	F. Lema, T. Maimu, A. Ninatubu	1990	SERO - DSM
Tanzania A Poverty Profile, World Bank Report 12298 TA	World Bank	1993	REPOA
Legal Provisions against Domestic Violence in Mainland Tanzania	WRDP	1993	WRDP Box 35108 DSM
The Effect of Khanga Inscription as a Communication Vehicle in Tanzania	Chrestine. J. Hongoke	1993	WRDP Box 35108 DSM
Tanzania : The Informal Sector - Planning Commission Labor - Youth Development with Assistance from UNDP / ILO - URT / 91 / 028	Planning Commission / Labor	1991	Planning Commission / Labor
Tanzania Women and Development World Bank Report No. T9108TA	World Bank	1991	World Bank / REPOA

## 6 当調査実施に関する情報

### ◆ローカル・コンサルタント

Rose D. Jengo  
Documentalist  
Box 32597 DSM  
Tel: 666091

Esther P. Mkwizu  
Socio-Economist/Gender Specialist  
Box 61410 DSM  
Tel: 0811-320552/111950

Edine E. Mangesho  
Economist  
Box 9503 DSM  
Tel: 150049-50/180422

Khanifa Karamagi  
Trade Officer  
Box 9503 DSM  
Tel: 150049-50/180422

Rose N. Emmanuel  
Sociologist/WID Training Specialist  
Box 77587 DSM  
Tel: 0811-320552/111950

### ◆面談者

K. Msongo	Regional Administrative Officer, Mtwara Regional Office
S. E. Pangisa	Regional Planning Officer, CSPD Coordinator
Heikki Honkanen	Financial Controller(RIPS)
Mwajuma S. Masaiganah	Rural Development Facilitator(WID)(RIPS)
Julie Adkins	Program Development Advisor(Agriculture/WID)
Grace Joyce Solomon	Trainer/Advisor on Home, Economic & Human Nutrition to Rural Women(Agricultural Dept)
Hannash S. Msaki	Horticulturalist Advisor to Farmers.(Agriculture Dept)
Dominister Moshi	Livestock Extensionist Officer(MOA), Pilot Project for Lindi & Mtwara
Demere Kitunga	Project Officer, SNV
Alice S. Bhukoli	Wildlife Conservation Society of Tanzania-Coordinator(WCST)
Anneth Mwakimi	Education Officer(WCST)
Rhoda Kweka	Soil Scientist, Head Women in Irrigated Scheme MOAL
Mrs. Happiness Mchovu	National Program Coordinators Training Program for Women Entrepreneurs, the Food Processing Industry
Mr. Michael Sculz	Team Leader, Assistance to Self Help Organization
Mrs. Msaki	Planning Offices, Ministry of Agriculture
Mrs. G.K. Mpaka	Assistant Director, President's Office - Civil Service Department
Ms. Bertha V. Nyange	Economist, Ministry of Natural Resources and Tourism - Planning Division
Mr. J. Maudan	Director, Credit Scheme for Productive Activities of Women in Tanzania(REW)Tanzania
Mrs. Janet Uronu	Senior Fishers Offices, Ministry of Natural Resources and Tourism
Mr. Michael Macharia	Ag. Director of Education Planning, Ministry of Education and Culture
Mr. D. J. Bagenda	Projects Coordinator, Ministry of Education and Culture
Mr. E. Mpanda	Economist, Planning Commission
Mrs. K. Amani	Economist, Planning Commission
Mrs. Kiondo	Human Resources Development Officer, Planning Commission
Mr. A. Kajugusi	Ministry of Agriculture Cooperatives

## 7 引用文献

厚生省、1996、「開発途上国の母子保健」、厚生省

国際協力事業団、1996、「国別協力情報ファイル：タンザニア」、国際協力事業団

UNDP、1996、「人間開発報告書1996」、UNDP

UNICEF、1996、「世界子供白書1997」、UNICEF

SARDC (Southern African Research and Documentation Centre), 1997, A Country Profile Study on Women in Development in Tanzania, SARDC.

Tanzania, United Republic of, 1992, Women and Men in Tanzania, Bureau of Statistics.

UNICEF, 1990, Women and Children in Tanzania, UNICEF.

UNICEF, 1996, The Situation of Children and Women and in Tanzania (Draft), UNICEF, Tanzania.

World Bank, 1993, Tanzania: Gender Issues (Information Sheet), World Bank.



1950-1951

